



還暦過ぎ ホッケー再び

アジア5か国・地域の60歳以上が出場するホッケーの「第3回グランドマスターズ・アジアカップ」(マレーシア)で、日本代表チームが3位に入った。学生時代に活躍した人往年の名プレイヤーたちが、アジアの強豪相手にファイトあふれるスティックさばきを披露した。

(真田南夫)

日本代表は計18人。全員が高
校や大学でのホッケー経験者
で、若い頃に日本代表で活躍し
た選手もいる。

グランドマスターズの選手は
原則60歳以上で、各チーム2人
まで60歳未満の出場が認められ
る。今秋の大会は日本、マレー
シア、韓国、シンガポール、香

▲
アジアカップで3位に入った日
本代表チーム(マレーシア)

港の5チームによるリーグ戦
で、2年前の前回大会で初優勝
した日本は連覇を目指してい
た。

サッカー並みのコートの高さ
や、1チーム11人が出場するの
は通常のルールと同じ。ただグ
ランドマスターズでは、計70分
の試合の間に3回の休憩が設け
られる。

試合では、日本は巧みなパス
ワークで、強豪マレーシアを3
-2、シンガポールを1-0で

グランドマスターズ 日本、アジア杯3位

下した。しかし、韓国には1-2で敗れた。香港は60歳未満の選手が規定より多かったために失格となり、上位3チームが2勝1敗で並んだ。得失点差などで日本は3位、優勝はマレーシア、2位は韓国。FWの長谷川正直さん(58)(立命大OB)は「人工芝で予想以上に球足が速く戸惑った。優勝できなかったのは残念だが存分に楽しめた」と振り返った。

国内では、関西の愛好家らが中心になり、2007年に日本グランドマスターズホッケー協会を設立。国内の大会開催や、日本代表チームを編成してアジアカップ、ワールドカップ(W杯)への出場を重ねてきた。

代表の次の目標は、来年5月の豪州W杯での上位進出。同協会会長の下村尚さん(80)(和歌山大OB)は「青春時代に流汗を流し、世界の人と交流を深める。長寿の秘訣です」と話した。